

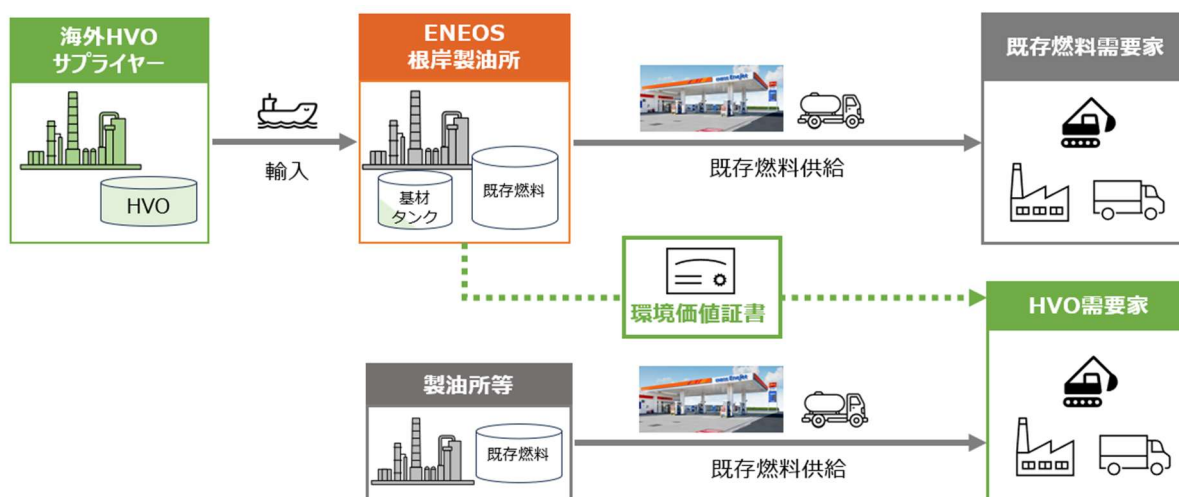
2026年6月30日
ENEOS 株式会社

ENEOS 根岸製油所への HVO 輸入について ～既存インフラを活用したバイオ燃料サプライチェーンの構築～

ENEOS 株式会社（以下、ENEOS）は、バイオ燃料の普及と脱炭素社会の実現に向けて、HVO（Hydrotreated Vegetable Oil：水素化処理植物油）*1を、ENEOS 根岸製油所（神奈川県横浜市）に輸入しましたので、お知らせいたします。ENEOS は HVO の環境価値を、マスバランス方式*2 および Book and Claim*3 方式を用いて需要家に提供してまいります。

SAF*4 の連産品である HVO は、既存の化石燃料由来の軽油と比較して、ライフサイクル全体で非常に高い温室効果ガスの削減効果が見込まれます。また、軽油と同等の性状を有するため、既存の設備との親和性が高いことから、根岸製油所の既存のタンクに HVO をそのまま受け入れ、既存の燃料と混合して出荷することが可能となります。

HVO の環境価値は、ENEOS が帳簿上で適切に管理し、証書として需要家へ提供します。これにより、需要家は実物の HVO を使用せず、既存の燃料をそのまま使いながら脱炭素化の取り組みを実現できます。結果として、HVO 専用の新たなインフラ投資が不要となり、幅広い需要家へのバイオ燃料の普及促進が期待されます。





(写真：根岸製油所における HVO 搬入の様子)

今回の、燃料運搬船(タンカー)による製油所への大規模な HVO の輸入は国内初となります(当社調べによる)。

ENEOS は、グループの長期ビジョンに掲げる「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」の両立に向け、挑戦を続けています。その一環として、和歌山製造所における SAF 製造を軸に、原料調達から自社製造、販売までを網羅する一貫体制の構築を検討しています。今後も、SAF、HVO などの低炭素燃料のサプライチェーン構築ならびに普及促進に取り組んでまいります。

以 上

- *1 HVO (Hydrotreated Vegetable Oil) 水素化処理植物油
廃食油等の油脂を水素化処理して製造されるバイオ燃料。SAF の連産品であり、軽油に近い性状を有し、既存燃料の代替として活用することが可能。
- *2 マスバランス方式
原料調達から製造・流通に至る過程において、低炭素原料由来の製品と既存製品をサプライチェーン上で混合のうえ、環境価値を帳簿上で管理し、環境価値証書等を用いて製品に割り当てる方式。
- *3 Book and Claim 方式
低炭素原料由来の製品の環境価値を、現物の燃料から切り離し、帳簿上で管理し、環境価値証書等により需要家へ移転する仕組み。
- *4 SAF (Sustainable Aviation Fuel)
バイオマスや廃棄物等を原料として製造される持続可能な航空燃料。従来の航空燃料と比較して、ライフサイクル全体で温室効果ガス排出量の削減が期待される。

【お問い合わせ先】

ENEOS 株式会社 広報部メディアリレーショングループ pr@eneos.com